経済産業省 令和８年度「中堅・中核企業の経営力強化支援事業」採択プロジェクト

次世代工作機械イノベーション・コンソーシアム キックオフ研究会

AI時代の北陸モノづくり基盤強化

世界的にデータ統合やフィジカルAIの開発が急速に進展する中、
企業間の連携やネットワークの重要性が高まっています。
本コンソーシアムでは、日本の製造業を支えてきた工作機械業界を取り巻く国内外の環境変化を共有し、
時代における北陸地域のモノづくり基盤を強化するための新たな展開方策を探ります。

2026
12/1 火
14:00-17:00

会場	ホテル金沢 5階 JR金沢駅 徒歩1分
参加費	無料

お申し込み・研究会の詳細はこちら

プログラム（予定）

14:00 挨拶、コンソーシアム概要説明

14:20 講演

- 世界の最新技術動向と先進事例から見る、北陸の工作機械産業の立ち位置
- 北陸の工作機械産業の現状と方向性
- 中国の産業政策の構造と企業動向

３名の専門家にご登壇いただき、世界動向、国内大手の先進事例、フィジカルAIで急進する中国の動向などを把握し、北陸の工作機械産業の立ち位置を整理します。



中尾 政之 氏
東京大学
名誉教授



森本 喜隆 氏
金沢工業大学
教授



王 婷 氏
日本総合研究所
専門家

16:20 名刺交換会　**17:00** 終了予定

（事務局） 株式会社RICH
所在地：石川県小松市龍助町36小松プライムビル503
メール：info@rich-hokuriku.co.jp
（協力機関） 一般財団法人北陸産業活性化センター

次世代工作機械イノベーション・コンソーシアムについて

工作機械産業のサプライチェーンが高密度で集積する北陸地域において、 AI時代に向けたモノづくりの基盤形成を図るために、工作機械メーカー、工作機械利用企業から成る「次世代工作機械イノベーション・コンソーシアム」の設立を図ります。

コンソーシアムの 3 つのステップ

STEP 01

先端動向の把握（キックオフ研究会）

12月1日開催

世界動向、国内大手の先進事例、フィジカルAIで急進する中国の動向などを把握し、北陸の工作機械産業の立ち位置を整理します。コンソーシアム参加のご意向については研究会当日に確認させていただきます。

登壇者プロフィール

中尾 政之 氏

東京大学産学協創本部特任研究員
産業技術総合研究所研究戦略企画部
プロジェクトマネージャー

日立金属株式会社に入社し、開発・設計・生産に従事。大学では研究に注力し、ナノ・マイクロ加工等を手がけ現在に至る。
東京大学の国立大学法人化後に、社会連携講座を15個、立ち上げて、コマツ、トヨタ、AGC、古河電工などの製造業の企業と産学連携の共同研究を進めた。
2002年に畑村洋太郎氏とともにNPO法人「失敗学会」を立ち上げ、企業の生産活動に伴う事故・失敗の原因を解明する「失敗学」を研究。経済的打撃や人命に関わる重大事故などが起こる前に未然に防ぐ方策を広く社会に提供している。著書も多数で、日本テレビ「世界一受けたい授業」にも出演。
最近では、産総研が主導する「工作機械に関する大規模なデータプロジェクト」に従事し、製造現場におけるデータ活用やAI技術の応用を通じて、製造業の高度化を推進している。

森本 喜隆 氏

金沢工業大学 教授
日本機械学会 フェロー

金沢大学工学部を卒業後、同大学大学院で機械工学を学び、1983年に石川県工業試験場に入所。富山工業高等専門学校、宇都宮大学を経て、2008年に金沢工業大学教授に就任。現在は同大学工学部先進機械システム工学科の教授として、工作機械の高速・高精度制御や超精密位置決め技術の研究開発に取り組んでいる。
特に、振動や熱変形に強い工作機械の構造開発や、ナノメートル単位の位置決め制御による高精度加工技術を専門とする。自動車エンジンのカムのような非軸対称の三次元曲面を旋削加工で実現する技術など、従来の加工方法の可能性を広げる研究を推進。こうした研究成果は2015年度日本機械学会賞（論文）を受賞するなど高く評価されており、10件以上の特許も保有する。
2022年から2024年度まで金沢工業大学副学長を務め、現在も研究・教育の両面からものづくり技術の発展に貢献している。

王 婷 氏

日本総合研究所 調査部
上席主任研究員

1993年北京大学卒業後、東京大学大学院にて博士課程を修了。在学中には米ハーバード大学客員研究員を務める。
2002年に株式会社日本総合研究所へ入社後、現地法人日綜（上海）北京分公司総経理や三井住友銀行（中国）取締役を歴任。
長年、同社創発戦略センターにて、カーボンニュートラルやサステナビリティ関連政策、産業育成の海外動向、インフラ海外輸出、海外での新規事業開発や産学官連携支援を専門として活躍する。特に中国をはじめとするアジア諸国の脱炭素政策や産業育成動向（EV、エネルギー産業等）に深い見識を有し、個人の脱炭素取り組みを促進する海外の制度構築など、多角的な研究・支援に注力している。2026年4月より現在部署。

STEP 02

論点抽出（パネルディスカッション等）

12～1月予定

地域の工作機械産業の課題を共有し、検討テーマを提示します。次に、専門家を交えたシンポジウムやワークショップを通じて、参加者間の議論を深め、地域が将来目指すべき産業の方向性や論点を整理します。

STEP 03

構想立案（個別面談・意見取りまとめ）

2～3月予定

参加企業との個別面談を通じ、技術開発や企業間連携を含む次年度活動計画を策定します。

お問い合わせ

株式会社RICH
お気軽にお問い合わせください

所在地：石川県小松市龍助町36小松プライムビル503
メール：info@rich-hokuriku.co.jp
（協力機関） 一般財団法人北陸産業活性化センター